

## 平成27年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立石越小学校  
教諭 門田 洋之

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治  
小単元名 子育て支援の願いを実現する政治

### 2 単元について

#### (1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）を受けて設定したものである。学習内容は、3つの小単元で構成されており、具体的な事例に即して学習を進めるようになっている。地方公共団体の政治の働きを考えさせるための教材は2つあり、埼玉県川口市の社会保障を中心とした教材と宮城県気仙沼市の被災地の復旧・復興を取り上げている教材である。「国の政治の仕組み」については、国会、内閣、裁判所のそれぞれが大切な働きをしていることや、三権が相互に関連し合っていることが学習を通して理解できるようになっている。また、憲法の基本的な考え方は、基本的人権や国民主権、平和主義について調べていく構成になっている。さらに、それらをふまえた上で税金の果たす役割や意味の大きさにも気付くことができる単元である。

#### (2) 児童の実態（男21名 女19名 計40名）

社会科の事前調査（聞き取り）では、新聞（社会面等）を読んでいる児童は、「たまに見ている」も含め2名しかおらず、新聞自体を読まない児童がほとんどであった。また、テレビなどで情報番組は見るもののニュース系の番組はほとんど見ないようである。政治について興味・関心がある児童は4、5名と少なく、他の児童からは、「難しい」、「言葉の意味がよく分からない」という声が多かった。

「税金」についての質問も行った。「税金」という言葉は全員が知っていた。また、知っている税金の種類は、「消費税」が圧倒的に多く、「自動車税」、「住民税」なども一部の児童から出された。「税金という言葉から思い浮かぶこと」では「何に使うのか分からない」、「高い」、「無いといい」などの反応が多かった。

正しい知識や理解はほとんどなく、保護者やテレビなどからの情報を耳にしたことからくる反応と考えられる。また、税金の使われ方にも多様な意見が出され、正しいものもあれば、「よく分からない」、「建物」、「みんなが使うもの」など、曖昧な意見も多かった。税金の使われ方がよく分かっていないため、「税金は必要か」という質問には、「必要ない」、「微妙」の回答が多く、「必要」と答えた児童は数名にとどまった。

#### (3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、以下のような点に留意して指導にあたりたいと考える。

- ① 社会科では、これまで日本の歴史の学習の中で、年貢などの「税」に関する学習も行ってきている。古くから「税収制度」があったことを想起させ、現代との相違点なども考えて税についての理解を深めさせたい。
- ② 「税金」と一言でいっても、種類や納め方、使われ方等々理解しなければならないことは多い。本単元では、納められた税金はどんなことに、そしてだれのために使われるものなのかにポイントをしぼって指導する。
- ③ 佐沼税務署（登米法人会）から講師を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。
- ④ 税金についての調べ学習を行い、疑問や分からないことを課題に設定させ、進んで学ぼうとする意欲を高める。

### 3 小単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きを理解し、国民生活とのかかわりを考えようとする。
- ・ 調べたことをまとめ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

### 4 指導と評価の計画（本時：6／8）

時	○主な学習活動	・指導上の留意点	*評価の規準
1	○児童センターの見学 ・子どもをもつ親の願いについて考え、話合う。	・地域にある支援施設について調べさせ、興味・関心を高めさせる。 ・わたしたちの石越町を活用する。	【関】【技】*利用者の願いや活動の様子に関心をもち調べようとしている。
2	○みんなの願いと児童センター ・子ども支援施設について学習問題をつくる。	・住民の役に立つ施設が、なぜ無料で利用できるのかという疑問から学習問題につなげていくようにする。	【思判表】*地方公共団体の政治の働きについて学習問題を考え、表現している。
3	○あすばるの活動 ・どんな目的で、どんな活動が行われているのか調べる	・支援施設を利用した経験がある児童には、体験や活動を想起させる。	【思判表】*支援施設は、市民の願いを取り入れて活動していることについて考え、ノートに表現している。
4	○市役所の働き ・市役所の働きについて調べる。	・取材の仕方を学ばせる。 ・計画・予算案は市役所の仕事で決定は市議会の仕事であることを理解させ、次時につなげる。	【技】*各種資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。
5	○市議会の働き ・市議会の仕事について調べる。	・資料を読み取り、市民、市役所、市議会、国会や関係省庁の関係をとらえさせる。	【知理】*国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを理解している。
6 7 本時	○税金の働き ・公共施設の建設や運営するための費用はどこから出ているのか調べる。 ◎登米法人会の方をゲストティーチャーとして招き、専門的な立場から話をしていただく。	・公共施設の建設や運営するための費用を調べることによって、税金が重要な役割を果たしていることに気付かせる。 ・教科書と関連させながら話を聞かせ、身近なところで税金が使われていることに気付かせる。	【知理】*市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、理解している。
8	○まとめ ・学習問題を解決する。	・「ことば」を利用し、自分の言葉で分かったことや考えたことを表現させる。	【技】*自分の考えを整理しながらまとめている。 【思判表】*政治は国民生活の安定と向上を図るために重要な働きをしていることについて表現している。

### 5 本時の学習 —「税金の働き」について考えよう—

#### (1) 本時のねらい

- ・ 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて読み取ることができる。
- ・ 税務署（法人会）の出前授業を活用して、理解を深めるようにする。

## (2) 指導にあたって

- ・ 本時は2時間扱いとし、後半は登米法人会から講師を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。

## (3) 学習過程 (6 / 8)

段階	主な学習活動	教師の支援 (○) と評価 (◆)
導入	1 支援施設の建設費や運営費の具体的な金額を予想する。 (1)おおよその金額を話合う。 (2)その金額はどこから出ているのかを予想する。 ・国や県, 市 ・自分たち ・税金	○漠然とした予想ではなく, 資料2のデータをもとに考えさせる。 ○どこからそのお金が出ているのか予想させるとともに, 本時の課題へとつなげていくようにする。
展開	2 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">公共の施設の費用は, どこから出るのでしょうか。</div> 3 費用がどれくらいかかるか, 実際にどこから出るのか調べる。 (1)資料1の図: 市役所の収入を読み取る。 ・税金・国や県からの補助金・借入金 (2)資料1からあすばるの建設や運営における税金の使われ方を確認する。 ・建物を建設する費用 ・働く人の給料 ・設備を修理する費用 など (3)税金がどのように集められ, どんなことに使われているのかを調べる。 ①資料3: さまざまな税金 ・消費税 ・住民税 ・所得税 など ②資料3: さまざまな税金の使われ方 ・警察や消防 ・道路建設 ・学校 ・ごみ収集 ・健康診断 など ③「社会を支える税金」を読み, 税金の大切さを考える。	○資料1の「あすばるに必要なお金」から, 自分たちの市にも収入があることを捉えさせる。 ○登米市でも集められたお金が身近な公共施設に使われていることを知らせる。 ○子どもの自分たちでも, 買い物や食事など, 普段から納税を体験していることを改めて実感させ, より身近なものとして税金を捉えさせる。 ○消防や警察, ごみ処理の仕事など, 3・4年生の学習と関連づけて, 税金の使われ方を具体的に考えさせるようにする。 ○「社会を支える税金」のコラムを読み, より具体的な税金の使われ方について読み取らせたい。
終末	4 税金の集められ方や, 使われ方についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">人々の願いを実現するための費用には, 住民や会社などから集められた税金が使われている。市の税金のほかにも, 国からの補助金などもある。税金は, 私たちの生活や社会を支える大切なものである。</div> 5 振り返りと次時の学習内容を知る。	○税金について調べたことをまとめさせる  ○登米法人会から講師の先生をお呼びして授業することを知らせ, 次時への期待感をもたせる。

## (3) 評価

- ・ 税金の必要性や納税の義務などについて理解することができたか。

## 6 登米法人会からゲストティーチャーを迎えて（7／8）



◇2／4 登米法人会のみなさんが来校



◇話の中に出てくる金額が大きすぎて、ピンとこない児童のために「1億円が目の前に！」



◇真剣に話を聞いています



◇税金の正しい使われ方をカードを使って学習しました。



◇説明もとても分かりやすい内容でした。



◇最後にまとめのお話と質問等を受け付けてもらって終わりました。

## 7 児童の感想から（一部抜粋）

- ・ 税金の働きの学習を通して、ぼくたちが生活する中で税金はかせないものだということがわかりました。公園や信号、公共施設などもすべて税金でまかなわれているということを実感しました。父さんや母さんは、税金がまた上がると言っていたけれど、ぼくはもっと上がってもいいと思いました。
- ・ 私は、税金なんてなくてもいいのにと感じていました。しかし、今回の授業で税金がないと、私たちの暮らしが成り立たないことや、税金が使われているところと使われていないところがよくわかりました。
- ・ 私は、税金のことをあまり生活の中で考えることがなかったので、とてもよい機会になりました。